

令和 7 年度 事業計画

※()は令和 6 年度予算額

I 文化芸術に親しむきっかけづくり

(1) 子ども文化芸術事業 令和 7 年度予算額:14,124 千円(12,073 千円)

子どもの想像力、創造力、表現力を育み、文化芸術に親しみを感じてもらうために、子どもたちが文化芸術を鑑賞・体験できる機会を創出する。

① アーティストとであう

国内外で活躍しているアーティストを小学校へ派遣し、音楽、ダンス、演劇、美術、日本伝統文化、国際文化の 6 分野13 プログラムを実施する。

■実施時期:令和 7 年 5 月～令和 8 年2月

■実施校:74 校(予定)

② ニッセイ名作シリーズ鑑賞プログラム

主に小学3,4年生を対象に(公財)ニッセイ文化振興財団が制作する演劇作品の鑑賞プログラムを実施する。

■実施日:令和 8 年 2 月 4 日(水) 2 回実施

■会場:福岡市民ホール 大ホール

(2) 社会参加促進事業

11,670 千円(4,167 千円)

年齢や障がいの有無、性別や国籍に関わらず、誰もが文化芸術に触れ、親しみ、文化芸術を通じて社会との新しい関係性を築く機会を創出する。

① 「見える・感じる・新しい第九」公演(仮称)

九州交響楽団と手話をベースに表現する手歌で奏でるコーラスで心をひとつにして、観る人、聞く人、奏でる人、誰もが一緒に楽しみ、感動を届ける音楽会を開催する。

ア 本公演

■実施日:令和 7 年 12 月 7 日(日)

■会場:福岡市民ホール 大ホール

■定員:1,200 名程度

イ 関連ワークショップ

本公演に出演する参加者のワークショップを実施する。

■実施時期:令和 7 年 9 月～12 月に 8 回程度

■会場:福岡市民ホール練習室等

■参加者:小学生以上 15 名程度

ウ 関連イベント

ホワイトハンドコーラス NIPPON のドキュメンタリー映像の上映等を実施する。

■実施時期：令和 7 年 9 月（予定）

■会 場：福岡アジア美術館 あじびホール 他

② 特別支援学校アウトリーチ

アーティストを特別支援学校へ派遣し、マリンバやパーカッション、ダンスの鑑賞・体験プログラムを実施する。

■実施時期：令和 7 年 6 月～12 月（予定）

■実 施 校：3 校（予定）

③ 鑑賞サポート研修

福岡市を拠点に活動する文化芸術活動者や文化施設管理者、公演実施団体等を対象に、誰もが文化芸術に親しんでもらうための障がいのある方等への鑑賞サポート等に関する研修会を開催するとともに、参加者間の交流会を実施する。

■実施時期・会場：未定

④ 他団体との連携

他の公演実施団体と連携し、障がいの有無等に関わらず誰もが文化芸術に親しむ機会を提供する。

ア 博多座共催事業

■公 演 名：ミュージカル「昭和元禄落語心中」

■実 施 日：令和 7 年 4 月 19 日（土）昼・夜、20 日（日）昼 計 3 公演

■対 象：特別支援学校高等部・生徒及び保護者（各回 5 組 10 名を無料招待）

■会 場：福岡市民ホール 大ホール

イ 九州交響楽団共催事業（予定）

■公 演 名：「夏休みリラックス・コンサート」

■実 施 日：令和 7 年 8 月 24 日（日）計 1 公演

■対 象：未定

■会 場：福岡市民ホール 中ホール

(3) 文化芸術を活用したにぎわい創出事業

21,515 千円(17,997 千円)

福岡アジア美術館のアートカフェにおいて、市民や観光客が音楽、舞踊、伝統芸能等のアジアや福岡の文化芸術に触れる機会を提供するとともに、まちの魅力向上とにぎわい創出を図る。

① 市民が楽しむアートカフェ事業

アジアをはじめとする様々な国の音楽や舞踊等のステージイベント等を実施する。

■実施時期：令和7年5月～令和8年3月（3回程度）

■会場：福岡アジア美術館アートカフェ等

② 観光客が楽しむ文化・エンタメによる集客促進事業

インバウンドや国内観光客の夜間滞在を促進し、福岡アジア美術館に誘導するため、金曜日の夕方に気軽に楽しむことができる音楽や舞踊等のステージイベントを実施する。

■実施時期：令和7年5月～11月の金曜日（ギャラリー休室期間等を除く）

■会場：福岡アジア美術館 アートカフェ

2 市民の文化芸術活動の支援

(1) 第62回福岡市民芸術祭

4,900 千円(4,900 千円)

市民の文化芸術の発表の場、身近に触れ合う場として、音楽・美術・演劇・ダンス・伝統芸能など幅広い文化芸術団体が参加する総合的な文化芸術の祭典である市民芸術祭を開催する。

① 市民参加行事

市内で開催される文化芸術団体等による文化芸術活動を市民芸術祭参加行事として認定し、統一のロゴやのぼり、WEBサイトやInstagram等SNSを活用して一体的な広報を行う。また、福岡市立施設の利用料の減免等により活動を支援する。

■実施時期：令和7年10月～12月

② プロモーション事業

FaN WeeKのオープニングに合わせて、福岡アジア美術館の企画展と連携した音楽等のステージイベントを実施する。

■実施時期：令和7年9月13日（土）

■会場：福岡アジア美術館アートカフェ

③ 主催事業 再掲

九州交響楽団と手話をベースに表現する手歌で奏でるコーラスで心をひとつにして、観る人、聞く人、奏でる人、誰もが一緒に楽しみ、感動を届ける音楽会「見える・感じる・新しい第九」を開催する。

※「1 (2) 社会参加促進事業 ①」参照

(2) ステップアップ助成プログラム

6,000 千円(6,000 千円)

福岡市において文化芸術活動を行い、今後の活躍が期待される団体・個人に対して、活動経費の一部を助成するとともに広報や専門アドバイザーによる助言・フォローアップ等を行う。

(3) 鑑賞サポート研修 再掲

福岡市を拠点に活動する文化芸術活動者や文化施設管理者、公演実施団体等を対象に、誰もが文化芸術に親しんでもらうための障がいのある方等への鑑賞サポートに関する研修会を開催するとともに、参加者間の交流会を実施する。

※「Ⅰ (2) 社会参加促進事業 ③」参照

(4) 他団体との連携

① きびるフェス

NPO 法人が主体となり、市内 4 つの音楽・演劇練習場の指定管理者とともに、舞台芸術に関わるすべての人へ向けてワークショップや演劇の公演を実施する「きびるフェス」について共催し、広報支援等を行う。

■実施時期：令和7年 12 月～令和8年1月

■会場：音楽・演劇練習場

3 文化芸術普及・情報発信事業の推進

(1) 文化芸術資源収集活用事業

3,400 千円(49,585 千円)

<美術品等購入費及び事務費>

福岡市民の貴重な財産となる美術品、博物館資料等を、福岡市美術館、福岡アジア美術館、福岡市博物館と共働して収集し、展示を通して市民が多様な文化芸術資料を身近に鑑賞する機会を創出する。

(2) 文化芸術広報事業

3,940 千円(3,776 千円)

① 財団機関誌『w a』の発行

財団事業をはじめ、地元の文化芸術活動者やイベント、企画展などの情報を見やすくわかりやすい誌面にまとめて発信することで文化芸術ファンの拡大を図る。

■発行回数：年 2 回(7月、11 月)

■発行部数：各 20,000 部

② 情報発信機能の充実

財団ホームページで市民や文化芸術活動者に向けて財団イベントや支援事業等を発信するとともに、フェイスブックやXなどのSNSを活用したタイムリーな情報発信、メールマガジンの定期配信等を通じて、発信力の充実に取り組む。

(3) ミュージアム連携事業

21,630 千円(19,087 千円)

福岡市美術館、福岡アジア美術館、福岡市博物館の収蔵品をモチーフとしたミュージアムグッズや、収蔵品等に関する図録・叢書等の製作、販売を行うとともに、三館の実施イベント、講座、広報などの支援を行う。

- (4) 賛助会「w a + c l u b (わたすクラブ)」事業 1,700 千円(3,220 千円)
市民の芸術鑑賞機会の増大及び福岡市の文化芸術活動の振興を目的に、財団事業をはじめとする文化芸術活動のサポーターとなる会員の加入促進を行うとともに、会員向けイベントの実施や特典の充実を図る。

- (5) 福岡音楽都市協議会 4,872 千円(4,249 千円)
福岡を日本・アジアを代表する音楽都市にすることを目指して設立された、福岡音楽都市協議会(MCCF)の事務局を担う。